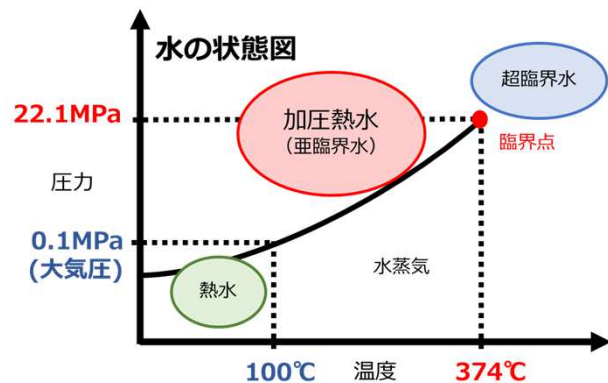


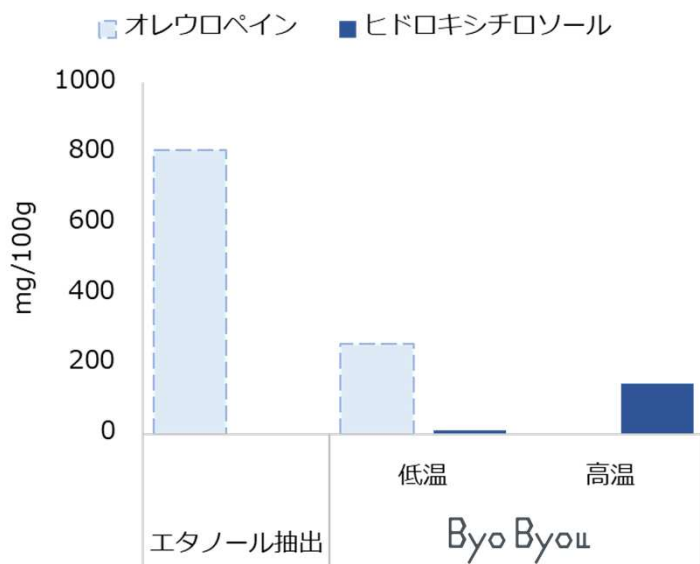
# 加圧熱水抽出とは

圧力容器に原料と抽出溶媒を入れて密封し加熱することで容器内部の圧力が上がり、装置内の液体が飽和蒸気圧状態になります。飽和蒸気圧状態の水を『加圧熱水（亜臨界水）』と言います。有機溶剤に似た性質を持つ水になるため、成分の抽出効率を高めることができます。また、加水分解力が高くなるため、高分子成分を低分子化できます。

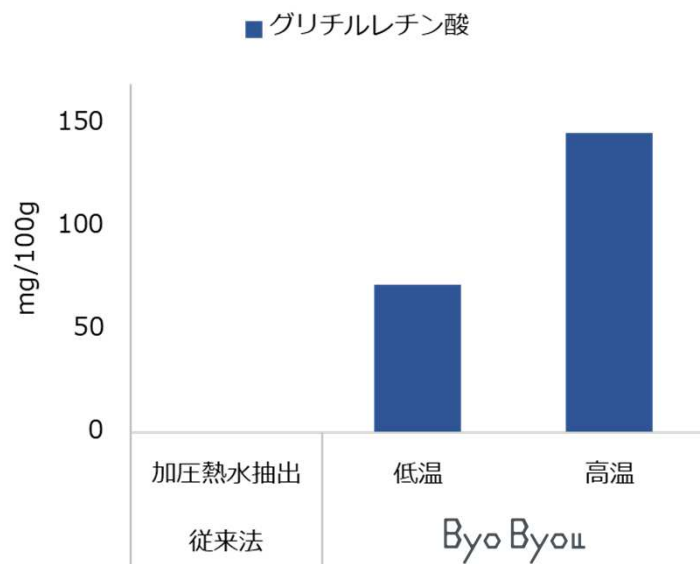


～大倉工業の加圧熱水抽出技術～

- ✓ 素材や目的成分に合わせて抽出条件をカスタマイズ
- ✓ 化学薬品を使用せずに、加水分解反応を促進
- ✓ 有機溶剤を使用せずに、脂溶性成分を効率良く抽出 (特許出願中)



『ヒドロキシチロソール』は、オリーブ葉に含まれるオレウロペインを加水分解して得られる成分です。



『グリチルレチン酸』は、甘草根に含まれる甘味成分グリチルリチン酸を加水分解して得られる脂溶性成分です。

『Byo Byou』は、水面が果てしなく広がるという意味を持つ言葉である『淼淼（びょうびょう）』から、「加圧熱水抽出技術が新たな価値を生み出し、海原に光が満ちるが如く世界に浸透してほしい」という思いを込めています。ロゴマークは、加圧熱水抽出技術によって抽出される代表的な機能性成分であるポリフェノールのベンゼン環をモチーフに、主溶媒として水を使用することから、水面に差す光の部分で「水」という漢字を表現しています。

と Byo Byou は、大倉工業が出願中の商標です。